

# 障害者相談支援センターだより

本紙6月号で紹介した一宮市障害者自立支援協議会でも新型コロナウイルスの影響で部会やイベントなどを中止していましたが、6月頃から感染症対策を行いながら、できることを少しずつ進めています。

## 就労支援部会

平成25年から開催している福祉マルシェ(※ i・愛・逢マーケット)は11月で8年目を迎えました！感染症対策をしながら7月から再開したところ、たくさんの方に来場していただいています。特にマスクや苗の売り上げが好調です。今年度から新たに加わった事業所もあるので、ぜひ足を運んでみてください。

※福祉就労の工賃の向上や障害福祉を市民の方にPRすることを目的として、一宮市内にある障害福祉サービス事業所が共同で出店しています。



開催日時：毎月第3水・木曜日

10時～19時

場 所：名鉄百貨店一宮店

正面玄関前

★エコバッグをご持参ください。

## 子ども部会

放課後等デイサービス事業所連絡会では「各事業所における感染症対策」をテーマに愛知県立大学看護学部准教授の柴邦代氏に会場+Zoomを活用したオンライン形式で講演していただきました。



## 生活支援部会

あいち発達障害者支援センターの樋口麻美氏をお招きして研修を行いました。強度行動障害のある方を支援する市内事業所職員が互いに学びあい交流する貴重な機会を持つことができました。



# 福祉教育 with コロナ



本会では毎年、内的小中学校を象徴として「福祉実践教室」を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染の大影響を受け、拡大の中止となりました。そんな状況の中、障害のある福祉の場に招いて講師に話を聴かせていただくことになりました。そこで、福祉の授業を設けることになりました。そこで、福祉の授業を設けることを重視の方の紹介をします。こので、紹介をします。

コロナに負けず  
頑張っています！



手話を教えている場面です。講師は聴覚障害者で、マスクをしていると口の形や表情が読み取れず、コミュニケーションが取りにくいため、マウスシールドを着用し、口元や表情が分かるように工夫をしています。また、講師は教卓から動かないこととし、児童と接触しないように注意しています。



点字を教えている場面です。点字器などは事前・事後に消毒をしています。通常であれば、打った点字は講師の方に読んでいただくのですが、感染予防のため中止としています。一方で講師と児童の交流時間や、福祉について考える時間を多く取っています。